

会員のひろば

題字：長塩三枝子

◆いつも機関誌を拝読し、編集される皆様の熱意に頭の下がる思いです。特に教育現場での取材には多くの時間を費やしての記事、凄いなあと感があります。

私こと、スタジイ楽書会に通っていますが、なかなか、思う様には書けません。筆の使い方難しさを改めて知った感じがしています。数年前から始めた俳句を、ベテランの仲間たちに教を乞いながら、作句に挑んでいるのですが、その俳句を筆で書いてみて練習している所です。書も俳句も始めるのが遅すぎた、という事は充分に承知はしていますが、何もせずにいるのも淋しいことなので、認知症予防も兼ねて自らを叱咤激励しつつ、これからも続けていければと願うこの頃です。(←品川さんの自作句による書作品)

前橋市 品川 恭子

◆こんにちは。
朝晩は鹿児島もだいぶ涼しくなってきました。
* 過日、手元に育ちと学びが届きまして、私としてもホッとしたところです。
お気遣いのご連絡もありがとつございまして。

相談室の子どもが、私の名前をネットで調べまくって、フォーラムのホームページから見つけていました。
小山ちゃん、こんなこと書いてるー。と笑いながら読んでいました。

鹿児島県大崎町 小山 潤也



相談室にて

◆60号は、2024年4月に開校した「群馬県立みらい共創中学校(夜間中学)」の取材記事が興味深かったです。開校後の動向が知りたいけれど、学校ホームページの更新はなく、7月の地元紙「上毛新聞」もスペースが限られていて、伊勢崎市議の高橋宜隆さんのブログで一度取り上げられたくらいなので、写真入り4ページには臨場感がありました。

群馬県初の夜間中学は、チャレンジングな状況で、生徒と向き合った教育活動の様子が記事からにじみ出ていました。新しい取り組みはプロパガンダをガンガン打ち上げる見せ方もあるかもしれませんが、まずは夜間中学に通う生徒たちが、「落ち着いて学習に取り組む」ことを最優先にして「一人ひとりに合った学びの担保」を求めている先生方のスタンスが感じられました。

フォーラムの活動や『育ちと学び』のことをSNSで宣伝したら、愛知県の大学で教職課程を担当している先生から、「学生と、記事をシェアしたい」と連絡がありました。学生の感想などをもらえると、また多くの人に知ってもらえるかもしれませんね。

伊勢崎市 齋藤理一郎

八重の混声合唱月冴ゆる

恭子